慶應義塾大学SFC研究所



AOI・ラボ

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(Shonan Fujisawa Campus)は、

神奈川県藤沢市に位置する、1990年開設のキャンパスであり、環境情報学部、総合政策学部、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科の3学部、2研究科が設置されています。

慶應義塾大学SFC研究所 AOI・ラボ は、

静岡県様と慶應義塾大学との連携協定に基づき、2017年に、ここAOI-PARCに設置され、情報科学、健康医療、分子生物学などの多様な分野を専門とするSFCの教員等が集い、AOI-PARCに集う組織とも連携し、以下の取り組み等に加え、健康医療に資する取り組みや、県内農業人材の高度化に資する取り組みを推進しています。

農作業のPDCAサイクル化を支援

➤ PDCAフレームワークの導入で、農作業の業務効率の改善を支援します。

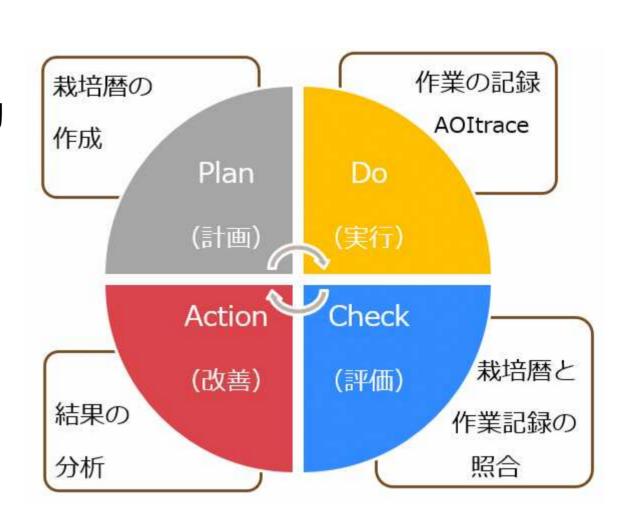
Plan(計画) : 栽培暦の作成

TPOCast/栽培暦 (照合)

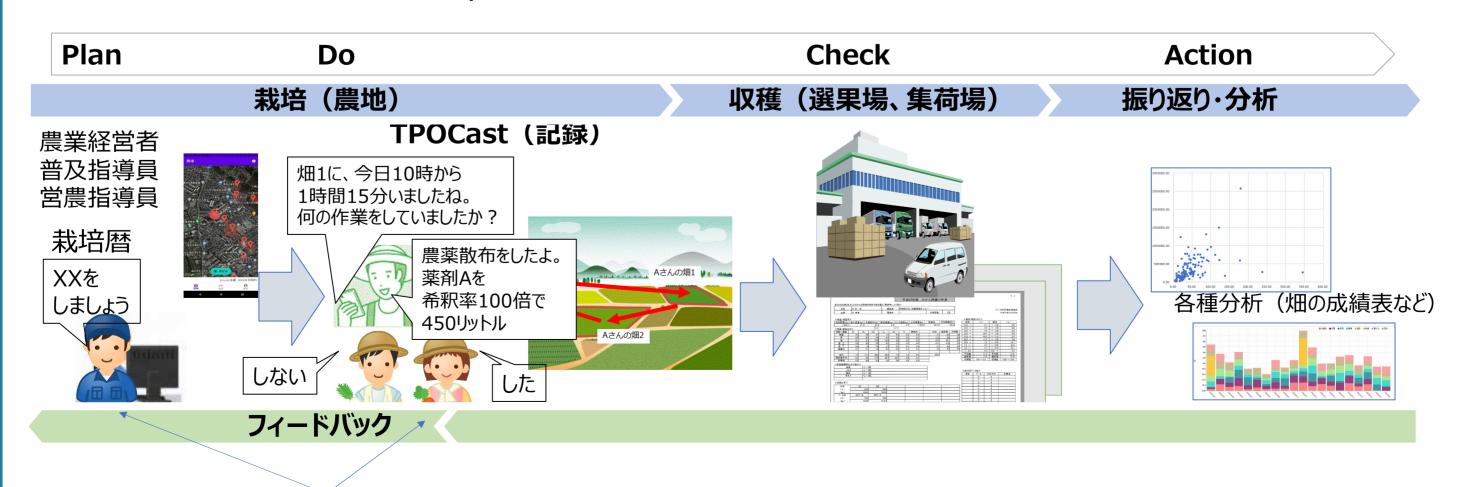
Do(実行): 作業の記録(TPOCast)

Check (評価) : 栽培暦と作業記録の照合

Action (改善):作業記録の分析



➤ 農業経営者の皆さんや指導員(普及指導員、営農指導員)が「栽培暦」を作成すると、TPOに即して作業指示を行い、作業者が日々記入する作業記録と照合するスマートフォンアプリ(仮称:TPOCast/栽培暦)を開発中です。



慶應義塾大学SFC研究所

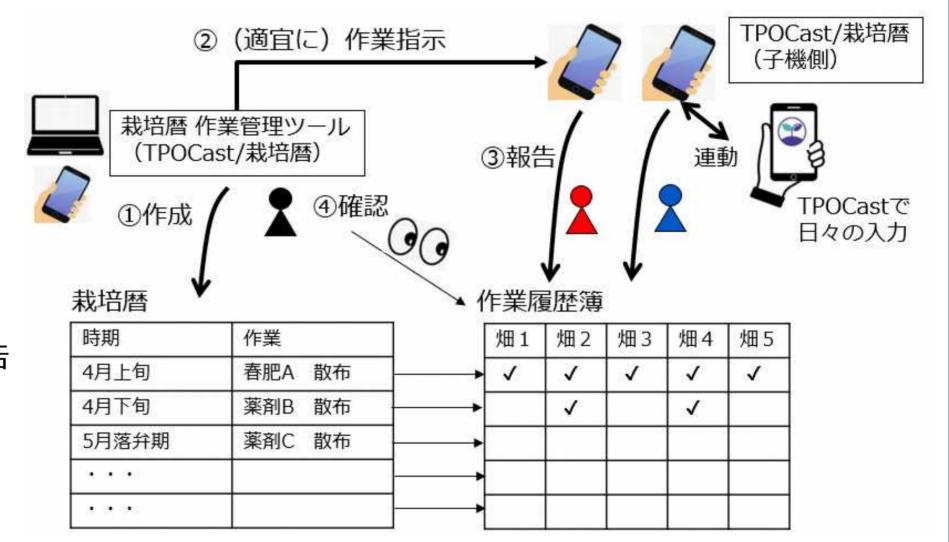
AOI· ラボ



主な研究成果 – 1

TPOCast/栽培暦 栽培暦の作成、作業指示、栽培暦と作業記録の照合

- ▶ ①栽培暦の作成(管理者)
 - ・栽培暦を作成・編集
- ②作業指示(管理者)
 - ・作業者に担当する畑を割り当てると、TPOに応じてするべき作業を自動通知
- ➤ ③報告(作業者)
 - ・指示に対応して終了作業を報告
 - ④確認(管理者)
- ▶・作業の進捗状況を確認



主な研究成果-

作業記録の分析 ~DEA (包絡分析法)を使った畑の成績表作成

▶ DEAは、居酒屋チェーン、コンビニなど、外的環境が異なる同系統の店舗同士を比較する手法です。 TPOCastで収集した畑ごとの薬剤散布、作業時間などと、売上や品質データを入力すると、畑ごとの「効率性」を計算し、「効率的でない」畑に対しては、どの畑が手本の畑になるかを提示し、「効率的」な畑になるための改善施策を生成してくれます。

TPOCastが収集する作業ログ



(注: 各カラム値は正規化済み)

